



発行所 磐城日日新聞社
 福島県小名浜町津田51
 電話代表387番
 振替仙合31,355番
 編集人 長瀬芳郎
 印刷ノ御用命ハ
 長瀬印刷所
 事務所印刷物
 廣告・チラシ

教委にはどんな町議を 時勢を認識する人

東北海運小名濱支局長 香野晃氏

教育面に深い関心を持ち、時勢に添った教育に認識を持つ人、そして人格識見共に高潔な人を希まます。町議から選出されるならば自ら政黨色は出されるでしょうが、政黨色を鮮明にされる事は困る。また時勢に対する認識に欠ければ先生方が子供の爲に良かれかしと種々革新的教育を施さそうとしても、何れに頭でいかに左派であるとか亦であるとか彈在する様でも又教育は前進しない。如何なる公職に於ても、うであるが、一定の職業を有し、生活力のある人が欲しい。生活力の基礎がなければ、勢い公職をたねに利権し、自からボスの存在となる恐れ多分にある。その上に高潔なる人格者を切望します。みだりに感情的に動かさなければ、先生は安心して教育に専念する事も出来なくなる結果を生ずる。

私の職業的立場から教育に希むたいことは、一般町民は勿論児童達に海に隣する認識を深めてもらいたい。云うことで、海に面し海に生活する町に住みながら、あまりに海をこいて殊に毎日に編

湯本財産區の協議会

湯本町財産區協議会は九日午前九時より湯本町議事室に協議会を開き、全町吹谷に建設する公衆浴場の資金百万円造成のため、湯本町内山林を賣却することを決定し、岩野新造、北村料理店などより陳情された湯本町の温泉は日没のため、湯本町一帯は日没のため、湯本町の温泉は日没ため

「アンマ」さんの總會の総会

磐城鎮交際会總會は全小名浜支店が主催となり、小名浜第二婦人会の協力を得て十一日午前九時より町公民館ホールに開かれ、新役員を選任、事業計画などが行われた。那下一圓から付添われて参加した委員は五十余名、会長大塚喜一郎の挨拶に始まり、先ず議長に山野達富雄(小名浜)氏を推し、

役員を選任した結果、會長 武田保夫(四倉) 副會長 植木喜美三(小名浜) 幹事 高木傳(平) 会計 大塚勇(四倉) の諸氏に決定。前會長大塚喜一郎氏を顧問に推戴した。次いで鈴木小名浜地獄署長、松田第一婦人会会長ら、武田新會長を議長に議事に入り事業計画として中

組優勝

湯本町温泉旅館組合は小名浜第一中學校テニス部と十一日午後一時より行われ、小名浜第一中學校が優勝、湯本町温泉旅館組合が敗れた。

小名浜第一中學校
 湯本町温泉旅館組合

魚菜市況 13

(小名浜中央魚菜市場)
 卵 二・五〇 二・五〇
 うれん草 一・二五 一・二五
 四葱丸 二・五〇 二・五〇
 一五廿甘 二〇〇・三三
 葱 一・〇〇 一・〇〇
 六〇丸大根 三二・五五
 牛蒡四〇・七〇 里芋七・七
 四〇白菜二〇・五五 大根
 五三三茄子五・一五 切
 芋一〇〇・一〇〇 胡瓜六
 〇一七〇 馬鈴薯二二・一
 四二栗六六・七五 なた豆
 二〇半 野七・〇〇
 (小名浜魚市場)
 鰯 二五〇 二五〇
 魚 二〇〇 二〇〇
 二五〇 二五〇
 九〇〇 二五〇
 二〇〇 二五〇
 二〇〇 二五〇
 二〇〇 二五〇
 二〇〇 二五〇
 二〇〇 二五〇

印刷ノ御用命ハ
 長瀬印刷所
 事務所印刷物
 廣告・チラシ

天気観報 14
 (本日) 北西後雨東の風
 晴時々曇りの天気です

小名浜町長
 湯本町長
 松本久吉
 鈴木建設株式會社
 社長 近藤一利

祝 國有鐵道八十周年記念 10月 14日

常磐炭礦株式會社

磐城礦業所

電話 一七二番

品川白煉瓦湯本工場

電話 一七二番

湯本町長

松本久吉

鈴木建設株式會社

社長 近藤一利

湯本町温泉旅館組合

日本水素工業株式會社

社長 莊野精二郎

吳羽化学工業株式會社

常磐線勿來駅前
 電話 二四・二五・一四六番
 電話(勿來) 五・六番

小名濱臨港鐵道株式會社

取締役社長 浦田文二郎
 常務取締役 真木 弘
 事務部長 小野 信一
 電話 三三〇・三七二番

國鐵推薦旅館
 日本交通公社協定

甲 陽 館
 平市町町四番地
 電話一四八番

乙 小瀧旅館
 小名浜町大原 電話一〇三番

小名浜旅館組合

小名浜町電一四番

磐城通運株式會社植田支店

支店長 北郷徳助
 支店代理 坂本 喜

植田地區炭礦組合

代表 大昭礦業株式會社
 電話一六四・一六七番

磐城通運株式會社泉支店

支店長 小林重三

磐城通運株式會社湯本支店

電話 三八番

湯本山形屋

湯本町電話四番

湯本松栢館

湯本町電話五番

磐城通運株式會社勿來支店

支店長 赤津憲一郎
 電話 六番

國鐵推薦旅館
 日本交通公社協定

とらや旅館
 平市町町三番地
 電話六四八番

